

研修報告3 ACT(アンダーコントロールトレーニング)研修

講師：医療法人スマイルクリエイター 早稲田大学 小西好彦先生 企画運営：砂川厚生福祉センターつばさ

前号では、自己肯定感が低く、愛着の不安定なAさんの認知のゆがみを正面から修正しようとしても、うまくいかないことがわかりました。今号では具体的な支援のてだてをお伝えします。

人の物を勝手に使うAさん



Aさんは人の物を使うから助かっていたりする。支援の方向性をこう変えた。



信頼関係、愛着の形成



毎日連絡なしに1時間遅刻するAさん



動機…モチベーション

「連絡する」「時間を守る」に対して動機がない。支援の方向性をこう変えた。



この職員さんの信頼を得たい… 動機付け



Aさんは想定した人物ですが、紹介された事例を元にしてしています。事例の成人の方たちも、これらの4コマのように職員さんの理解や支援体制の改善で変容が見られていました。いつか先生方にも小西先生のお話を聞いていただく機会を持ちたいと考えています。